

解答

一

- 問一 A エ B ア C イ
問二 自分の感情に引きずり回されないだけの距離ができる（から。）
問三 イ
問四 表現する力
問五 ウ
問六 単純な、たったひとつの言葉
問七 先を見通す力がつくことで、心の力をきたえられる
問八 エ

二

- 問一 子どもたちの前で五メートルを泳ぎ切る約束
問二 ア
問三 イ・エ
問四 クラスを超えた大合唱
問五 1 息つき（をしようとする）、
2 バランス（を崩し）、
3 転覆（してしまうから）。
問六 公彦は水泳が苦手で水面がわずかに波打っただけでもおびえていたのに、赤尾先生が一生懸命泳ぐ姿を見て、自分も勇気を出せば、顔を水につけることができるかもしれないと思い、目標にむかって頑張ることにしたから。
問七 エ
問八 ア・ウ

三

- (3) (2) (1)
① ① ① 厚 ② ② 修 ③ ③ 解放 ④ ④ いぎ ⑤ ⑤ おおぜい
② ② 目 ③ ③ 手 ④ ④ 顔 ⑤ ⑤ 腕
③ ③ 三 ④ ④ 五 ⑤ ⑤ 八 ⑥ ⑥ 十

解説

一

- 問三 — ②の前に着目します。同じクラスの中で、親や兄弟を無くした子もいれば、何もなくさずに無事だった子もいるという内容が述べられているので、選択肢イが選べます。
問八 本文の中盤に「本当の国語の力がないと、やはり周りに流されてしまう。流されて、受けの良い、当たり前なことを書く。」という記述があるので、正しいものは選択肢になります。

二

- 問一 — ①の前後から、赤尾先生はなんとか五メートルを泳ぎ切りたいと思って、これまでの特訓の成果を披露すると子どもたちに約束していることがわかります。この二週の特訓で五メートルを泳ぎ切れたことはまだないけれど、自分を信じて飛び込んだという内容から、約束は「子どもたちの前で五メートル泳ぎ切る」とであることがわかります。
問七 — ⑦の前後には、水面がわずかに波打っただけでもおびえた表情で顔を背けていた公彦が勇気を出し、ついに水中に顔を沈ませた姿が描かれています。できなかったことができるようになって興奮している様子が読み取れるので、選択肢エが選べます。